

感染症情報 12月16日～22日

府下小児科197医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	1677例(堺市	86例)
②溶連菌感染症	684例(堺市	70例)
③RSウイルス感染症	147例(堺市	4例)
④伝染性紅斑	121例(堺市	6例)
⑤咽頭結膜熱	113例(堺市	6例)

府下インフルエンザ定点301医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 4120例(堺市 619例)

感染症報告数は前週比6.5%増の3,020件であった。

感染性胃腸炎は府下で前週と比較して11%増、堺市で41%増であった。溶連菌感染症は府下で前週と比較して1%減、堺市で80例→70例は13%減であった。RSウイルス感染症が府下で20%増、堺市は前週3例→今回4例であった。伝染性紅斑は府下で10%増、堺市で前週、今回とも6例であった。咽頭結膜熱が府下で前週と比較して7%減、堺市で前週10例→今回6例であった。

インフルエンザが府下で前週2500例→今回4120例は65%増で、定点当たり8.31→13.69である。堺市では前週448例→今回619例の38%増で、堺市の定点あたりは15.45→21.34となった。

堺市教育委員会公表の26日正午現在の学年閉鎖は<南区>若松台小3・5年、学級閉鎖は<堺区>三宝小3年、<北区>百舌鳥小1・5年であった。

麻疹や風疹の報告はなかった。